

## 政府・日銀の為替介入について

今の円高水準は外需依存度の高い日本の製造業にとっては耐え得る限界を超えており、政府・日銀が為替介入を実施したことは評価している。

ただ、今回の円高は米国の量的緩和第3弾（QE3）の実施やイタリア国債入札の不調による欧州不安の再燃などのリスク回避のための円買いによるもので、単独介入による抑止効果には限界があるだろう。

しかし、手をこまねいては六重苦に苦しむ日本経済が破たんする。タイの洪水被害や今冬の電力供給不安など外部環境が極めて不透明な中、少なくとも、今後も円高に対しては政府・日銀が断固阻止するという意思表示を明確に発信し、場合によってはさらなる為替介入や金融緩和も辞さない覚悟で対応いただきたい。

以 上

2011年10月31日  
京都商工会議所  
会頭 立石 義雄